

2018年10月23日

新型リチウムイオン電池のサンプルワーク開始

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、社長:安藤 孝夫)は、大学等と共同研究を行っている新型リチウムイオン電池の、ラボスケール実証向けサンプルワークを開始しましたので、報告申し上げます。

当社は慶応大学の堀江英明特任教授をはじめ、パートナー企業と共同で、これまでとは全く異なる新型リチウムイオン電池の開発を行っています。一般的にリチウムイオン電池は、集電体である金属箔に、電極材をスラリーにして塗布し、乾燥工程を経て電極を形成します。開発中の新型リチウムイオン電池は、当社の強みとする界面制御技術を活かして、集電体、電極を樹脂化することで、セルの大型化、厚膜化を容易に行えます。また、積層による直列接続が可能となつて、接続部品点数を減らせることによりシステム全体の小型化が可能です。また、樹脂で構成しているため、形状の自由度が高く、従来にはない新規需要への展開も期待されます。

昨年要素技術を確立後、2020年の実用化に向け、ビルや工場などに設置する定置用大型蓄電池などの民生用途を中心に市場調査と技術課題抽出を行ってきました。ラボスケールでの電池システムの目標を実現しつつあるため、サンプルワークを開始し、各種民生用途等の応用展開を加速していきます。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社 広報部

電話 075-541-4312